

バイオマスタウン構想分析DB

【リンク】[笠岡市バイオマスタウン構想](#)

公表回	公表年月日	構想見直し		都道府県名	市町村名	人口 (人)	面積 (km ²)
		公表回	公表年月日				
26	2008.5.29			岡山県	笠岡市	57,272	136.03
構想の要約		笠岡市の農用地の約4割を占める一大農業基地である「笠岡湾干拓地」を中核に、家畜排せつ物の堆肥化、麦稈などの未利用バイオマス資源やエネルギー資源作物のバイオエタノール化、菜の花・ヒマワリなどの油糧作物や廃食用油のバイオディーゼル燃料化に取組み、「環境にやさしい農業」を目指す。					
構想に盛り込まれた事業		<ul style="list-style-type: none"> ◆家畜排泄物の利用検討 ◆牛糞堆肥製造施設整備 ◆菜の花・ひまわりプロジェクト廃食油利用・バイオディーゼル燃料利活用 ◆草本系バイオエタノール資源作物の栽培 ◆バイオエタノール生産プラント整備 					
バイオマス利活用目標		添付別紙参照					
バイオマスタウン構想概要図		添付別紙参照					

利用するバイオマス					
廃棄物系バイオマス		未利用バイオマス		資源作物	
家畜排せつ物	○	稲わら・もみがらなど	○	資源作物	○
農業系廃棄物(廃菌床など)		野菜等非食部			
食品廃棄物		間伐材・林地残材			
廃食用油	○	果樹剪定枝			
水産加工残さ		竹材			
製材工場等残材		その他()			
建設発生木材					
街路樹・公園・家庭剪定枝、刈草					
古紙・廃棄紙					
下水汚泥など					
その他()					

利用するバイオマス変換技術			
マテリアル利用のための変換技術		エネルギー利用のための変換技術	
堆肥化(土壌改良材・肥料を含む)	○	バイオガス化(メタン発酵)	
飼料化		直接燃焼	
バイオマスプラスチック製造		ガス化	
その他()		炭化	
		固形燃料化(チップ・ペレット・RDFなど)	
		バイオディーゼル燃料化	○
		バイオエタノール化	○
		その他()	

バイオマスタウン実現に向けた取組の進捗状況	
記入年月日	記事

実現した事業	添付別紙参照
--------	--------

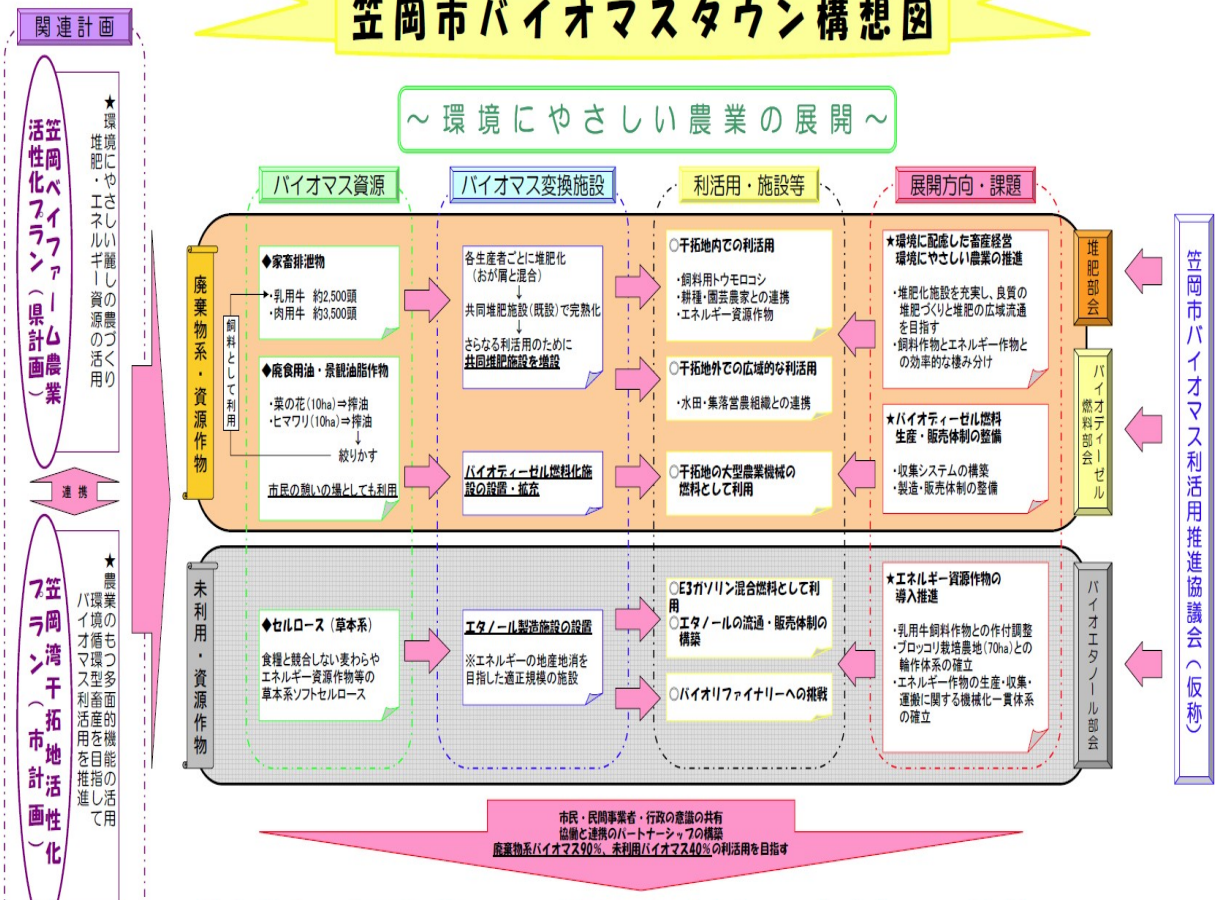
バイオマス利活用目標
(バイオマスタウン構想書からコピー)

バイオマス	賦存量	変換・処理方法	目標量	利用率
(廃棄物系バイオマス)				※99.9%
◆家畜排泄物	64,212t	堆肥化	64,212t	100%
乳用牛 2,353 頭	(39,640t)	おが屑＋堆積発酵	(39,640t)	
肉用牛 3,369 頭	(24,572t)	(堆肥水分 68～64%)	(24,572t)	
◆廃食用油	6.75t	バイオディーゼル燃料化 (農業機械用燃料)	6.0t	90%
菜種 10ha	(3.75t)			
ヒマワリ 10ha	(3.00t)			
(未利用バイオマス)				※40%
◆麦稈 75ha	168.75t	バイオエタノール化 (麦作 30ha を目標に活用)	67.5t	40%
(資源作物)				
◆エネルギー資源作物	375t	バイオエタノール化 (E3 燃料)	112.5t	30%
ソルゴーなど 25ha (作付計画)				
◆油脂作物	6.75t	搾油 (生産量相当分の廃食用油をバイオディーゼル燃料化)	6.0t	90%
菜種 10ha	(3.75t)			
ヒマワリ 10ha	(3.00t)			

バイオマスタウン構想概要図
(バイオマスタウン構想書からコピー)

笠岡市バイオマスタウン構想図

～環境にやさしい農業の展開～



笠岡湾干拓地発 ⇒ 笠岡市全域のバイオマスタウンへ

実現した事業(その1)

事業の名称	
事業者名	
事業所名	
住所(施設の所在地)	
利用するバイオマス	
利用する変換技術	

事業の概要	添付別紙(パンフレット等)参照
	(事業形態、事業構成メンバー、出資比率、事業開始時期、施設の概要、プラントメーカー、建設業者、イニシャルコスト、ランニングコスト、原料単価、製品単価、経営状況、事業運営の課題、成功・失敗要因など記入)